

代表として関係機関との交渉に当たっている。1869年に設立された International Hotelmen's Association と 1921年に設立された International Hotel Alliance の 2 組織を合併して '46年に設立した。現在の規約は'78年に作られたもので、'93年にフランスの法人格を取得している。本部はパリ。 [石井]

国際ツーリング連盟 International Touring Alliance; Alliance Internationale de Tourisme (仏): AIT 民間の観光関連産業の国内団体を結集する国際業界団体連合である。1898年にルクセンブルクに設置され、その後組織の改変を経て、現在はスイス法人としてジュネーブに本部を置いている。正会員は各国の自動車連盟、ツーリング・クラブ、屋外観光団体とされていることから窺えるように、自動車観光の健全な発達が主な目的である。賛助団体を含め、93か国の131団体が加盟、これらの団体傘下の個人会員数は合計900万人にのぼる。日本からは日本自動車連盟 (Japan Automobile Federation: JAF) が加盟している。 [石井]

国際見本市連盟 Union des foires internationales: UFI (仏); Union of International Fairs 見本市発展のためにさまざまな活動を行っている国際組織である。見本市への理解を深めてもらうための教育セミナーを開催したり、見本市開催国に対して技術的支援を行ったりしている。毎年年次総会が開かれ、1996年の総会は10月に東京で開催された。'25年設立、本部はパリ、加盟国は64か国である ('97年1月現在)。 [原]

東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター (ASEANセンター)
Association of South-East Asian Nations Centre 日本とアセアン諸国間の貿易、投資、観光の促進を目的に、1981年5月に設立された。加盟国は、7か国 (ブルネイ・ダルサラーム、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ) である。アセアン諸国から日本への輸出、日本からアセアン諸国への技能および技術の移転を含む投資、日本からアセアン諸国への観光を

促進するための諸活動を実施する。事務局は東京にあり、貿易部、投資部、観光部および総務部の4部から構成されている。観光部は、アセアン各国において観光関係者を対象としたセミナーや訓練プログラムの実施をはじめ、観光促進のためのセールスイド類 (パンフレット、ポスター、ビデオ、スライドなど) の制作および配布、アセアンへの旅行者に対する情報提供などを行う。

[高野(陽)]

APEC 観光ワーキンググループ

Asia-Pacific Economic Cooperation Conference, Tourism Working Group: TWG 18か国・地域が加盟する APEC (1989年11月設立) の域内経済協力を具体的に推進する機関として、貿易促進やエネルギー協力などの分野ごとに設置された10のワーキンググループの一つである。'91年6月に設置された。各国・地域の観光関係者が年に1~3回集まって会合を開き、観光と環境に関する調査や観光産業の振興策、また人材養成プロジェクトなどの課題を討議する。 [高野(陽)]

PATA (太平洋アジア観光協会) Pacific Asia Travel Association 1951年、アメリカから太平洋地域への観光客誘致を目的に、政府観光機関と航空会社を中心となり設立された国際団体である。発足からしばらくは欧米からこの地域への観光客誘致が主な事業であったが、加盟国にとりむしろ日本を含む東アジア地域などが重要な旅行者送出し市場となったことから、太平洋アジア地域内相互交流の促進が重要な事業となっている。また、PATA の関心は共同宣伝事業の枠を越えて調査統計、観光開発と資源保護、人材育成などに及ぶ。'97年現在、本部会員は政府観光機関40、州・市観光局53、航空会社・クルーズ会社7、ホテル・旅行者等1,893。日本支部の事務局は (特)国際観光振興会が運営する。'99年には名古屋での PATA 年次総会開催が決定している。 [佐藤(哲)]

EATA (東アジア観光協会) East Asia Travel Association 1966年に、(特)国際観光振興会の音頭取りで発足した東アジア